

ほうふ

Hofu

しぎかい 市議会

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

だより No.82

令和8年9月1日

防府の
モニュメント

No.3

「川辺のおもいで」(てんじんぐち駅前広場)

防府市出身の彫刻家、山本辰昭さん(故人、自由美術協会会員)が製作したモニュメントです。
昆虫採集の少年と犬、鳩を両脇に配し、川辺で虫取りを楽しむ少年時代の思い出を表現した作品です。
夏休みになると、子どもたちは網や竹竿を手に、山や川へと向かいました。自然は遊びの場であり、
学び舎であり、冒険の舞台でした。蝉の声を追い、魚影を追ひ、夢中になって遊びました。
かつての夏の記憶が、静かに息づいています。懐かしい風景に、ひと時、心を重ねてみて下さい。



6月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P10
市議会の役割	P10
手話通訳による本会議傍聴	P11

政務活動費の閲覧	P11
防府おどりの参加	P11
9月定例議会の予定	P12
市議会だよりお届け日の変更	P12



議会中継及び録画映像が
スマートフォンで見られます! 防府市議会



議会中継はこちら

市議会だよりは
マチイロで読めます



令和 8 年 6 月 定例議会

6 月定例議会は、6 月29日から 7 月15日までの会期17日間の日程で開催されました。

5 月の市長選挙後、初めての議会で、市長から所信表明があり、令和 8 年度一般会計補正予算、財産の取得など議案11件、選任 2 件、承認 2 件、報告11件を審議し、すべての議案が全会一致で可決されました。主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

承認

■令和 8 年度一般会計補正予算（1 号）（4 月専決）

中東情勢が緊迫する中、中小企業者の資金繰り対策を緊急的に講じるため、物価高騰対応等予備費を活用し、専決処分（※）により措置したのを、承認しました。

○関税・物価高騰対策緊急支援資金（750万円）

〔融資枠〕 5 億円

〔融資対象〕 中小企業者等

〔限度額〕 1,500万円

〔利率〕 5 年以内：1.4%、5 年超10年以内：1.5%

〔保証料〕 市全額負担

〔拡充内容〕・据置期間を最大 2 年間で 3 年間に拡大
・据置期間は無利子（市全額負担）
コネクト22による確認
・中東情勢の影響が確認できること
・雇用を継続すること

融資額 5 億円を限度とする借入残高の利子相当額に債務負担行為を設定しました。

※専決処分とは、議会が議決しなければならない案件（予算の決定や条例の制定など）を、議会を招集する時間的余裕がない、緊急の場合に行政運営の遅れを防ぐために、市長が議会の議決に代わり意思決定することです。議会に報告し、承認を得なければなりません。

〔融資要件〕 コネクト22による確認

- ・中東情勢の影響が確認できること
- ・雇用を継続すること

〔限度額〕 1,000万円

〔利率〕 5 年以内：1.4%、5 年超10年以内：1.5%

〔保証料〕 市全額負担

融資額 3 億円を限度とする借入残高の利子相当額に債務負担行為を設定しました。

○制度融資利子補給事業積立金（3,600万円）

「関税・物価高騰対策緊急支援資金」及び「小規模事業者中東情勢緊急支援資金」に係る補給利子相当額を「ふるさと振興基金」に積み立てます。

○漁業者燃料油支援事業（200万円）

中東情勢の影響により燃料高騰の影響を受けている漁業者を支援するため、事業に要する燃料油（A重油）購入費を支援します。

〔対象者〕 水産業に従事する者

〔対象燃料〕 漁船の操業に要するA重油

〔内容〕 中東情勢が緊迫化した令和 8 年 2 月を基準とした高騰分を支援（2 月時点の単価108.6円/ℓ（税抜き）と購入時点の単価との差額）

〔期間〕 令和 8 年 7 月～9 月



予算

■令和 8 年度一般会計補正予算（2 号）

1 億4,000万円を増額し、補正後の予算額は591億1,000万円となりました。主な事業は次のとおりです。

○小規模事業者中東情勢緊急支援資金（9,450万円）

〔融資枠〕 3 億円

〔融資対象〕 小規模事業者

製造業その他：従業員20人以下

商業・サービス業：従業員 5 人以下

○ほうふっ子夏休み元気事業（8,000万円）

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（本市配分4,200万円全額）を活用し、夏休み元気給付金を支給します。

〔対象〕 0 歳児から中学生以下のこども（約15,000人）

〔内容〕 こども 1 人当たり

5 千円を支給



条 例

■市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

緊急消防援助隊等出勤手当について、日額2,160円から日額2,880円に改めるものです。

■市税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、個人市民税の申告について、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲を見直し、固定資産税の免税点について、家屋にあっては30万円に、償却資産にあっては180万円に引き上げるものです。

■市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、本市の消防団員等公務災害補償条例を改め、葬祭補償の定額部分を31万5千円から33万円とするものです。

一般議案

■市道路線の認定、変更及び廃止

国道2号富海拡幅に伴い、交差点の形状変更により沿線の市道を再編するため、9路線を新たに認定、6路線を区域変更、1路線を廃止します。

また、宅地開発に伴う開発路線8路線を新たに認定します。

■財産の取得

消防力の維持強化を図るため、大道分団器庫に来年の2月末に配置予定の消防ポンプ自動車1台の購入を契約するものです。

契約金額：2,695万円



人 事

■市教育委員会委員の選任

退任 ぬくみず 温水 さちよ 祥代さん 新任 なかむら 中村 さちこ 祥子さん

市長所信表明(抜粋)



市長就任当初から、未来を担うこどもたちに「住み続けたい、戻ってきたい」と、思ってもらえるまちづくりを進めることが自らに課せられた責務と考えています。

この8年間、新庁舎の建設、こども家庭センターの設置、農林業の知と技の拠点の誘致、国道2号富海拡幅の開通など皆様と防府の未来を一つひとつ形にしていまいりました。

防府のまちは明るくなり、本市の人口も転入超過の傾向が続いており、まちづくりの成果は着実に現れていると考えております。

これからの4年間、第6次防府市総合計画に掲げる重点プロジェクトは全て成し遂げるとの覚悟をもってまちづくりを進めます。国道2号台道・鑄銭司拡幅をはじめとする道路整備を推し進め、三田尻中関港の整備にも道筋をつけてまいります。また、広域防災広場と県立総合医療センターによる複合防災拠点の整備、全ての小・中学校体育館の空調整備、公民館や障害福祉施設の建替えなどを進め、こどもから高齢者まで安心して暮らせる、防災都市ほうふの構築に力を注ぎます。

本市は市制施行90周年を迎えます。イベントを皆様と盛り上げ、市制施行100周年に向けたスタートを切ってまいります。こどもたちが大人になったとき、「このまちが1番だ」と、胸を張って言ってもらえる、防府を作り上げてまいりましょう。

あと4年、「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、市議会議員の皆様、市民の皆様、職員とともに前に進んでまいりますので、ご協力と一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

Q&A

一般質問



6月定例議会では、19名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、9月に会議録を製本予定ですので、市役所本館1階市政情報閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。



会議録はこちら



今後の市政運営、物価高騰への対応について

曽我 好則（自由民主党）



問 これからの4年間、まちづくりと今後の市政運営について、市長のご所見を伺う。

市長 これまでの8年間、防府の未来を形にするため、第5次総合計画の重点プロジェクトは必ず達成すると目標を立て、概ね達成することができた。

今年、市制施行90周年を迎え、防府のまちがどのように変わっていくのかと期待をいただく中、将来のまちの姿を示す第6次総合計画がスタートした。

総合計画に掲げるプロジェクトは、大規模なものも多く、決して容易ではないが、1年1年が任期であるとの覚悟で、市政運営に全力を尽くす。

問 中東情勢の緊迫化に伴う物価高騰が本市に与える影響と、今後の財政運営について伺う。

市長 中東情勢の緊迫化は、原油価格の大幅上昇を招き、さらには流通の目詰まりによる、シンナーなどナフサ由来の物資の供給が滞る事態が生じている。

このため、4月に専決処分により措置した中小企業向けの資金の拡充に加え、この度小規模事業者を対象に、超低利の特別な資金を創設することとし、補正予算を本議会に提出させていただいた。今後とも商工会議所等と連携して迅速に対応してまいります。

また、物価高騰により、第6次総合計画の各プロジェクトは想定を上回る事業費の増加が見込まれるため、これまでの行政経験を最大限に活かし、国への要望など、あらゆる手段で財源を確保し、各プロジェクトを前に進めるという強い覚悟で財政運営に臨んでまいります。



登山を活かした地域資源の活用について ◆道交法改正に伴う安全対策と環境整備について

山田 耕治（絆）



問 女性や子どもの登山者が増え、右田ヶ岳登山道入口のトイレ設置の要望も多い。環境整備が必要ではないか。

市長 地元と調整しながら、登山者が多い時期の仮設トイレ設置を検討する。

総務部長 また、トイレトレーラーについても、イベントでの展示・啓発を通じて、活用方法を検討したい。

問 見通しの悪い登山道の改善や案内標識の充実、休憩スペースなど、安全で快適な整備の必要性は。

市長 大平山山頂へ向かう道路において、樹木伐採や路肩拡幅、休憩可能なビュースポット整備を進めている。

問 登山者に対し、安全対策の啓発や自身の位置情報

を知らせるツールの操作方法を、市HPに掲載しては。

消防長 登山時の注意事項を掲載し周知を図る。

◆道交法改正に伴う安全対策と環境整備について

問 自転車交通反則通告制度開始後の市内状況は。

市長 青切符交付はなし。警告は71件（5月末）。3月・4月を集中取組月間とし、出前講座で周知している。

問 通学路の安全対策として、防犯カメラの設置や子どもたちのタブレットに位置情報アプリを導入しては。

市長 防犯カメラについては、必要などころへ設置するという考えで進める。デジタル技術については、先進地事例を参考に研究する。

問 防府で完結できるサイクリングルート、「サイクル県やまぐちプロジェクト」へのアクセス場所を、市のホームページヘルリンクを貼り付けるべきでは。

文化スポーツ観光交流部長 そのように対応する。



市民防災訓練。小児夜間救急 校外学習等の移動バス

河村 孝（公明党）



問 本市初となる実践的な「72時間連続防災訓練」の具体的な内容と、今後の防災対策への決意は。

市長 南海トラフ巨大地震を想定し、沿岸部避難や3日間の避難所対応、広域応援派遣等の訓練を行う。課題を一つ一つ検証して災害対応力を高め、「防災都市ほうふ」の構築に全力で取り組む。

問 夜間急病時の窓口が年齢で異なり分かりにくい。小児夜間救急のために、一目でわかる「ワンペーパー」の作成や、「山口・防府地域夜間こども急病センター」（山口日赤）へのアクセス支援、将来的な小児オンライン診療の調査・研究を。

市長 相談先が一目で確認できるチラシを作成し周知を徹底する。持続可能な医療体制の維持が重要であり、まずは電話相談（＃8000等）の利用促進を図ると共に、内科オンライン診療の定着を進める。



問 全国で痛ましい事故が多発している。5月開始の地域クラブ活動送迎バスの安全管理や、校外学習におけるこどもの安全対策は。

教育長 車両点検やアルコールチェック、マニュアル共有を徹底している。自転車指導は動画活用等でルール定着を図り、移動時の安全確保に引き続き努める。



大雨等に対する防災対策について 持続可能な地域公共交通の在り方について

梅本 洋平（自由民主党）



問 5月29日から運用が始まった新たな防災気象情報について、本市はこれをどのように避難情報の発令や市民周知に生かし、避難行動につなげていくのか伺う。

市長 新たな防災気象情報は、防災気象情報と警戒レベルが統一され、より分かりやすく見直されたもの。本市では、レベル3警報で全公民館を自主避難場所として開設し、状況に応じて高齢者等避難を発令する。レベル4危険警報では、必要な地区に避難指示を発令し、全ての避難場所を開設する。今後もホームページ、データ放送、出前講座、総合防災訓練などを通じ、繰り返し周知していく。

問 運転手不足や人口減少が進む中、市民の移動手段を将来にわたり維持するため、公共交通等在り方検討会で、利用者目線の改善やボランティア輸送支援をどのように進めるのか伺う。



市長 公共交通等在り方検討会では、利用者目線での改善、ボランティア輸送のモデル事業、高齢者等バス・タクシー運賃助成制度の見直しを柱に検討する。防府駅を基軸としたバス網の特性を踏まえ、電子表示板の設置やバス停上屋の整備、県立総合医療センターへの展開など利便性向上に取り組む。また、小野地域の取組をモデルに、運行方法や担い手確保、安全面を検証し、他地域でも参考となる基本モデルを整理していく。

要望 運賃助成制度の拡充や自動運転バスの試験運用など積極的に検討してほしい。



県庁舎・警察署移転後の県有地を 活用し、街の起爆剤にできないか？

松村 学（自由民主党 明政会）



問 市の新庁舎が昨年1月6日に供用開始され、市役所敷地に県総合庁舎と防府警察署が移転し、防府駅近隣にあり、マンションが多数所在する人口集中地区で、市役所前の超一等地が遊休地となります。

旧県総合庁舎の敷地面積は10,159㎡で、現防府警察署は約6,003㎡と広大な敷地であり、街づくりの起爆剤になるモノを作ったり、誘致することができます。

防府の街も人口社会増が続き、最近是全国的に有名な商業施設や大規模店舗などたくさん入ってきており、市外から人・モノ・金が市に流入し、好循環となっている今がさらなるまちづくりの高みを目指すチャンスです。

そこで、市庁内で県有地跡地検討会を設置し、広く活用方法を考えられないか？

また、防府警察署の用地は市役所の真ん前で、幹線道路に隣接しており、たくさんの可能性を秘めた用地であるが、職員駐車場を検討されているそうで、この駐車場用地を県総合庁舎の一部に移転してもらうよう、県と協議できないか？さらに状況に応じて、市が県から県有地を取得できないか？

市長 いずれも県有財産であり、建物も含め、活用については、県において適切に検討、判断されるものと認識しています。

要望 市民から希望と期待が込められている用地なので、県へこの提案を伝えていただくことを要望します。





地域の皆さんが喜び、次世代の担い手を育てられる仕組みづくり

石田 卓成（国民民主党）



問 上右田地域では、ほ場整備の完了後に向けて、国内初となる、ジャンボタニシの食害を回避できる、ドローン直播技術の開発を目指した実証実験を行ったり、住民有志が立ち上がり、県河川の法面に、長年、生い茂っていた雑木を、バックホーの先に付けるマルチャーという林業用のアタッチメントを使って伐採したりと、様々な取り組みをしています。（→のイラスト参照）

ほ場整備（農地基盤整備）に併せて、営農もできる非営利型の一般社団法人を新たに立ち上げ、地域住民が力を合わせて自らの手でインフラと人々の暮らしを守り、しっかりと若者を育てていける農村RMO活動を進め、地

域貢献をしていくことについて、市のご所見を伺います。

市長 農村RMOは、農地の活用を図り、生活支援などを行う、地域振興策の一つであると考えています。農業による農村地域の活性化という考え方は、私も同じです。上右田地区での法人の設立による若手農業者の育成と、地域課題の解決に向けた取り組みには、期待をしています。そして、地域農業の核となる集落営農法人の設立、更には複数の法人からなる連合体の形成を支援することで、地域農業の振興を図り、農村地域の元気に繋げることにしています。



まると中間管理方式とは？↓



↑（一社）まると佐波川



防府天満宮、「表参道にぎわいプロジェクト」山頭火ふるさと館の利用促進について

河杉 憲二（自由民主党）



問 第6次防府市総合計画の「表参道にぎわいプロジェクト」が進められているが、進捗状況はどうか。

市長 商店街アーケードの撤去と表参道にふさわしい市道天神町協和線の整備を行う予定で、3年後の完成を目指している。また、立市や上天神エリアでは、商工会議所や「うめてらすネットワーク」など、表参道に魅力溢れる店舗となるよう、店舗改修等の支援をしていきたい。

11月の裸坊祭に向け、地元や商工会議所が中心となり、表参道に菅原道真公に由来した愛称をつけられると聞いている。ポスターや市広報などPRしていきたい。

問 山頭火ふるさと館は、表参道の賑わい創出の一翼

を担う施設だと思う。さらなる利用促進の取り組みが必要と思うが、どうか。

市長 山頭火ふるさと館は、来年、開館10周年を迎える。この節目となる年に、直木賞作家の伊集院静氏の企画展を計画している。

今後は、山頭火とともに、地元の文化人に光を当てた魅力ある企画展等も積極的に開催していき、天満宮に訪れた方々に、必ず立ち寄って頂ける施設にしたい。



**高齢者等の移動支援と公共交通施策について
ごみ分別の表示と周知について**

生野 美輪（公明党）



問 市では高齢者等にバス・タクシー運賃助成制度があるが、助成券を使っても負担が大きい、助成券が足りないなどのご意見がある。また、バスは近くにバス停がない、時間が合わない、行きたいところに停まらないなど課題がある。今年度設置された「公共交通等在り方検討会」での議論の内容と今後の取組について伺う。

総合政策部長 検討会では、バスの利用者目線での改善、ボランティア輸送のモデル事業、高齢者等の移動支援の在り方を大きな柱とし、利用実績データをもとに、利用状況、移動先、自己負担の状況などを分析している。

問 様々な理由で利用できていない方の意見も聞く必

要がある。シルバーバスやサブスク、バスルートでは駅を通過して市役所や郵便局、スーパーなどを經由して駅の反対口を終点とする他市の事例がある。

総合政策部長 利用実績データの分析や他市事例の調査を急ぎ、バスルートも含め交通事業者との調整や法定協議会で検討していく。



問 来年3月からプラスチック資源一括回収が始まることから、危険ごみの例を赤枠で囲う、捨ててはいけないものに×印をつけるなど「家庭ごみ分別収集カレンダー」をより分かりやすい表示に見直してはいかがか。また、ごみステーションにQRコードの掲示を。

市長 わかりやすい物に刷新し、来年3月に配布する。ごみステーションへのQRコード等の掲示については10月に実施できるよう自治会と調整を図っていく。



誰ひとり取り残さない教育の実現と 未来につなぐ競輪収益向上策

藤本 真末（未来防府）



問 5歳児健康診査実施に伴う通級による指導の受入体制について。

教育長 対象幼児の受入体制の整備に向け、関係機関と協議を行っている。



問 他校通級は、授業を抜ける時間が増え、保護者の送迎負担が課題である。巡回指導を含めた支援体制の充実についてのお考えはどうか。

教育長 課題はあるが、動向を踏まえながら、検討する。

問 令和8年3月に策定した「防府市小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」令和10年度までの計画だが把握、検証、評価の仕方について。

教育長 今年度は初年度のため、各種指標や学校現場の状況を継続的に把握しながら、成果や課題について検証する。教職員が専門性を発揮し、教育活動に専念できる職場環境づくりを推進していく。学校訪問や研修会を通じ、取組の効果や若手教職員を含めた現場の意見を把握し、学校の支援体制の充実や業務改善の推進を図る。

問 防府競輪の収益向上策の調査研究について。

文化スポーツ観光交流部部長

競輪事業での安定的な収益確保に向け、様々な方策を検討中。防府競輪場でのナイター開催に関しては、他の競輪場の状況確認や照明設備の専門業者へのヒアリングを行っている。ナイター競輪等については、長期的な課題として、引き続き研究していく。



災害時における女性目線を取り入れた 避難所運営、市道に架かる橋梁

宮元 照美（市民と共に）



問 女性目線を取り入れた避難所運営や訓練の実地について伺う。

市長 11月に3日間連続の南海トラフ巨大地震を想定した実践的な総合訓練を実施する。避難所運営訓練の中では、女性が安心して避難できるよう、女性職員や女性防災士等をローテーションすることにより、常に女性がいる体制をとることにしている。

また、住居スペースや女性専用スペースの確保女性ならではの困り事への対応など女性避難者に寄り添った運営を行う。母子については、避難所からこども家庭センターへの移送訓練も行う。

問 牟礼・浮野の昭和橋の老朽化及び安全確保について、市はどのように認識しているか。

土木都市建設部長 点検結果により老朽化による問題はないが、宅地造成が進むなど通勤・通学時間において車が渋滞し歩行者や自転車が行きにくい状況。

問 昭和橋架け替え等今後の計画及び見通しはどうか。

土木都市建設部長 混雑状況を抜本的に改善するには、架け替えが必要。柳川の河川改修を計画しており、河川の幅や深さの変更等あることから河川改修に合わせて橋の架け替えも必要である。河川改修が早期に実施されるよう県へ要望している。

問 アンケート結果に対する今後の整備について伺う。

土木都市建設部長 ご意見、ご要望を可能な限り受け止め整備に反映するが相当な期間を要する為、関係機関と渋滞緩和の対策を協議しながら検討していく。



自殺予防対策について 学校教育環境の安全確保について

村木 正弘（公明党）



問 国内では若年層の死因の第1位が自殺となっている。防府市の自殺防止への取組は。

市長 福祉相談窓口を中心に、相談内容に応じて適切な支援機関につなぐ体制を整えている。地域包括支援センターや本年度開設するひきこもり支援ステーションとも連携し、相談支援の充実を図る。また、ゲートキーパー養成講座の受講機会を拡充し、市民への啓発や対応力の向上に取り組み、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」自殺者ゼロを目指す。

問 学校での子どもたちへの相談体制や、アセスメントツールの導入は。

教育長 教職員へのゲートキーパー研修を通じて資質向上に努めるとともに、アセスメントツールについては効果や運用面を踏まえ、慎重に検討していく。

問 東京都の区立小学校で発生した火災を踏まえ、市内小・中学校の音楽室の配置状況と安全対策は。

教育長 市内26校中23校で音楽室が校舎の端に配置されている一方、そこからの避難を想定した訓練は一部の学校にとどまっている。今後は学校の実情に応じた、より実践的な避難訓練を実施するよう管理職へ指導する。

問 実践的な避難訓練や避難誘導體制の充実は。

教育長 避難設備や防火設備を教職員が確実に使用できるよう、異動時を含めた研修・引継ぎを徹底し、訓練で外階段等を用いて避難と誘導體制の再確認を行う。関係機関とも連携し、引き続き学校の安全対策に取り組む。社会の安全に貢献できる児童・生徒の育成を目指す。



5 歳児健診について

久保 潤爾（無所属の会）



問 5 歳児健診の検討委員会の状況はどうか。

市長 既に第 1 回目を開催しており、今後 2 回の検討委員会を開催し、効果的な健診になるよう進めていく。

問 保護者への周知と啓発はどうか。

市長 いわゆる「発達障害」への正しい理解を促すため、5 歳児発達相談会の案内で、発達の特性についての説明と、適切な周囲の理解や関わりにより、それぞれの特性に応じた成長につながることを伝えている。

また、全ての 5 歳児に健診を行なうことを市広報や HP でお知らせしていく。

問 学校支援員の増員と研修について伺う。



未来を見据えた市役所づくりについて ～窓口時間の短縮と勤務実態の把握～

重田 直輝（市民の声）



問 将来にわたり質の高い市民サービスを維持するため、職員の働き方を見直す必要がある。その取組として、近隣自治体では、窓口時間の短縮の導入が広がっている。

現在、本市では、勤務時間と窓口時間が同一であるため、開庁前の準備や閉庁後の業務が必要となっている。

市民に一定の不便をかけることを承知の上で、将来を見据えた先行投資として、本市でも実施すべきでは。

総務部長 現時点で実施する予定はない。

問 時間外勤務は職員の申請と上司の承認を基本としているが、勤務時間の管理において、パソコンの稼働時間など客観的なデータは活用していない。これらを

教育長 近年、特別な支援を必要とする児童生徒が増加しており、学校の実情を踏まえて学校支援員を増員した。研修は毎年 2 回行なっている。

問 「発達障害」という呼称を改めるべきではないか。

市長 市のこども計画では、支援を行う上で受け入れやすいなどの理由により「こどもの発達特性」という言葉を用いている。

教育長 市の教育振興基本計画では関係法令との整合性を図るため「発達障害」という言葉を使用しているが、学校現場においては、「こどもの発達特性」という言葉を用いている。



すべてのこどもの特性にあった支援を

活用し、勤務実態を把握することで、業務量の可視化、業務改善や適正な人員配置につなげるべきでは。

総務部長 客観的なデータの活用方法については研究し、より適正な勤務時間の把握に努める。

問 職員が能力を十分に発揮できる市役所づくりに向け、今後どのような方向性で取り組むのか。

市長 職員がやりがいや達成感を持って働ける職場づくりを進め、適正な職員数を確保しながら、市民サービスの向上に取り組む。

要望 市役所の働き方改革は職員を楽にするためではなく、市民サービスの質を維持・向上させるための取組である。現場の声に耳を傾け、勤務実態を適正に把握するとともに、業務改善を進めることで、持続可能な市役所運営を求める。そうした取組が、職員の地域貢献にもつながることを期待する。



中小企業への直接支援を求めて 市職員の休憩環境改善について

原田 典子（日本共産党）



問 中東情勢によるナフサ価格高騰等で厳しい経営が続く、中小規模事業者からは「借りても返済が不安」「材料費を支援してほしい」との声がある。融資だけでなく、返済不要の直接支援も検討すべきではないか。

市長 商工会議所、コネク22などと連携し相談窓口の設置や緊急融資制度を創設し対応している。事業者や関係機関からは資金繰り支援を求める声が多く、現時点で給付金の直接支援は考えていない。

要望 コロナ禍では事業者の努力だけでは乗り越えられない危機に対し、返済不要の給付金が事業継続や雇用維持に大きな役割を果たした。現在のナフサ価格高騰等

も先行きが見通せないという点で共通。直接支援を要望。

問 会計年度任用職員から「昼食休憩の場所を確保してゆっくり過ごしたい」との声を受けた。現状の休憩環境については？市民サービスの最前線で働く職員が、休憩時間に心身をリフレッシュできる環境は重要。休憩スペースの利用実態や満足度を把握し、改善をすべき。

総務部長 休憩スペースは十分確保されていると考える。職員の声はフロアマネージャーが意見を集約し、必要に応じて改善している。

要望 職員720人に対し休憩席は164席で、多くの職員がデスクで昼食をとっている現状が示された。利用状況や満足度に関するアンケートは実施されておらず、無記名のアンケートなどで声を聞いてほしい。





小・中学校の標準服（制服）の見直しについて

和田 敏明（市民の声）



問 標準服の経済的負担の認識は。

教育長 大きな値上がりは見られない。

問 小・中学校の標準服（制服）の見直しを行い、低価格化・公平性の確保・機能性の向上を目指してはどうか。

教育長 必要に応じて検討を進める。

問 教育委員会の主導のもと、標準服の市内統一をし、市内事業者を活用し低価格化を図ってはいかがか。

教育長 標準服の使用については、各学校長が判断するもの。

意見 市内で同じ義務教育を受けているのに学校に

よって購入価格に差額が生じている状況下、教育委員会は是正しないことは問題である。

要望 新小学1年生に無料配付されているほとんど使用されていない通学用かばんに比べれば、標準服は間違いなく使用され、安価で購入できれば、本市が目指す保護者の経済的負担軽減は達成されるため、教育委員会が主導し市内統一を進めるよう要望した。

【参考】男女差あり

小学校：約17,000円～19,000円

中学校：約35,000円～42,000円

（30年間で約2倍の価格）

※10年間で7,000円程度値上がり

その他の質問項目

◆熱中症対策について



遠征移動、安全確認は地域クラブ・スポ少任せ 防犯対策など、市全体に目を向けた対策を

三原 昭治（絆）



問 磐越自動車道で起きた高校生活部のマイクロバス遠征移動で、21人の高校生が死傷した交通事故を受け、教育委員会では、小・中学校の実態調査を実施したのか。

教育長 修学旅行は実施届が提出されるが、スポーツクラブなどは、各部に任せている。

問 移動手段は把握しているか。

教育長 レンタカー、貸し切りバス、公共交通機関を使用。主にクラブ指導者が運転している。

問 教育長が団長のスポーツ少年団の実態はどうなっているのか。

教育長 会合などで安全確保について話し合うが、遠

征における移動状況については把握していない。

問 匿名・流動型犯罪グループ、トクリュウによる強盗殺人事件などが依然として後を絶たず、市民は不安を抱えているが、防犯対策の取り組み。また、犯罪抑止などに有効とされている防犯カメラの活用状況は。

市長 詐欺被害が相次いで発生していることから、防犯対策の専門職員を配置し、防犯講話を行っている。防犯カメラは、市有施設に481台設置。今後に必要な所は設置する。

問 新年度事業において、防府駅周辺に防犯カメラが増設されるが、なぜ、中心市街地ばかり目を向けた施策が多いのか、市全域を対象にした防犯対策を行うべきではないか。

生活環境部長 犯罪状況も急激に変化しており、警察などの関係機関と協議しながら検討していく。



有害鳥獣の捕獲対策の促進について 中高生の学習スペースの利用促進について

上野 忠彦（自由民主党）



問 令和5年度に「鳥獣被害防止計画」（令和6～8年度）が作成されていますが、その執行状況について伺う。また、その最終年度に当たり前年度までの執行状況から、今後どのように促進されるのかについても併せて伺う。

産業振興部長 令和5～7年度の捕獲実績は、アナグマが計78頭、ヌートリアが計136頭、アライグマが計90頭となっている。今年度も猟友会等と連携を図り、捕獲を実施する。また、市職員の狩猟免許取得者を更に増員して、捕獲体



制の強化を図る。

問 図書館に隣接するルルサス文化センター本館や市庁舎のオープンスペースにおいて、中高生の学習スペースとしての利用状況について伺う。また、公民館等の市所有施設も含め、学習スペースとしての今後の利用促進についても併せて伺う。

市長 ルルサス文化センターのオープンスペースは、土日も含め日中は一般開放している。特に午後4時から7時までは高校生等専用の学習室としており、試験期間中は多くの学生が利用し、まちの活性化につながっている。昨年度は、高校生等専用の学習室を2,202人、オープンスペースを一般の人も含め5,117人が利用しています。また、公民館のロビー等は、現在涼み処としてオープンスペースを設置しておりますので、今後はこどもの学習スペースとしても活用していただきたい。



**生徒に負担の少ない地域クラブ活動を！
鉛製給水管の早期撤去を！**

田中 健次（市民クラブ）



問 中学生の部活動が、地域クラブに移行して、生徒の参加状況は？

教育部長 スポーツ26団体に1,200人、文化芸術15団体に300人、合計1,500人参加、加入率は約5割。

問 生徒の移動はどんな状況か？公共交通機関と送迎バスの利用者は？在籍校で活動する生徒は？

教育部長 公共交通機関の費用の補助申請は33人、送迎バスは88人が利用登録。在籍している中学校で活動の生徒は、約700人です。

問 参加状況について、どう評価しているのか？



**「地域計画」＝ほ場整備の促進
市制90周年をさらなる防府ファンの拡大に**

藤村 こうすえ（自由民主党）



問 改正農業経営基盤強化促進法で10年後の農地利用を描く「地域計画」が義務付けられ、17地域で策定されたが、作っただけでは「絵にかいた餅」である。真に実効性のあるものとするためには生産効率を高めるほ場整備を進める必要がある。本市のほ場整備の進め方について伺う。

市長 地域計画を実現するには農地を担い手に集積し、経営規模の拡大を図ることが重要。このためほ場整備に力を入れている。上右田南、中、北、玉祖に続いて植松、中山、真尾、小島川開作のすべての地区が可能な限り、早く国に採択されるよう地元の取組をし

教育長 学校での部活の加入率約8割からはちょっと低いと感じる。活動の場を増やすことを相談しており、活動の場が増えれば、もう少し増えると考えている。

問 鉛製給水管は、鉛の慢性毒性のため、撤去が進められてきたが、防府市の状況は？

上下水道事業管理者 かつては、道路に布設の水道管から宅地内の水道メーターまでの給水管の一部に鉛管を使用していたが、漏水防止の点から昭和46年に新規の使用を停止。国の方針に基づき、「市水道ビジョン」（平成22年3月）で、鉛管の総延長を5年間で半減の目標を掲げ、水道管の更新工事等に併せ取替えを進め、今年度中に撤去完了の予定です。

その他の質問項目

◆小・中学校での生成AIの利活用は慎重に！

◆高次脳機能障害者支援法4月施行への市の対応

っかりと応援していく。

提案 「構想図」がないことには地元の力だけで95%合意は難しい。「人、もの、土地」がどれだけ確保できているか、数値化すべき。モデル地区を選定し、プロジェクトチームを立ち上げ、行政と地域が二人三脚で次のステップへ進むべき。



問 市制施行90周年を契機とし、市内外へ防府の魅力を発信し、防府が好きな人を増やし、100周年に向けた確かな一歩を踏み出す年であってほしい。

市長 防府を愛し、応援してくださる方の力を結集し、「(仮)ほうふファン倶楽部」を創設したいと考えている。防府ファンの輪が全国に広がり、いつの日か、全国各地でこのまちの未来を語りあえるような場が生まれることを夢見ている。

市議会の役割

市議会は、市民の皆さまから直接選挙で選ばれた議員（25人）によって構成され、市民の代表者として市政に市民の声を反映するために議論する場です。

市長その他の執行機関を監視・けん制するだけでなく、政策提言・立案機能や調整能力を高め、幅広く市民の声を反映するという議会の役割を果たすため、「市民に開かれた議会」・「市民と協働する議会」を目指しています。

主な役割は、市の予算の決定や決算の認定、条例の制定や改廃、契約の締結などの重要事項を審議する、市政における議事機関です。

【市議会の権限】 市議会には、市の議事機関として十分な活動ができるように、いろいろな権限が与えられています。

議決権：条例の制定・改廃や予算を決定。決算を認定。

重要な契約の締結、財産の取得・処分等の決定。

調査権：現に議題となっている、又は将来議題となる基礎的事項や重要な事務の執行状況の調査。

検査権：事務に関する書類等を検閲し、執行機関の報告を徴して事務の管理、議決の執行及び出納を検査。

監査請求権：監査委員に対し検査を求め、その結果の報告を求めること。

意見書提出権：市民生活にかかる重要な課題について、国や県などの関係機関に意見書を提出。

請願・陳情受理権：請願・陳情を受け付け審査。請願は、市議会として採択・不採択等を決定。

同意権：副市長・教育長・監査委員などの選任を同意。

選挙権：議長・副議長・選挙管理委員会委員等を選挙。

手話通訳による本会議の傍聴ができます！

防府市議会では、手話通訳を行うことにより、聴覚障害者の方にも開かれた議会を実現することを目的とする「議会手話通訳実施要綱」を定めています。



本会議で手話通訳をご利用 手話通訳による傍聴のご案内
いただく際には、事前に手話通訳の方を配置する必要がありますので、傍聴希望日の7日前までに、「手話通訳申込書」に必要事項をご記入の上、議会事務局にご提出くださるようお願いいたします。提出方法は、持参のほかにもFax、E-Mail、郵送が可能です。

詳しくは、上記QRコードをご覧ください。議会事務局（TEL 0835-25-2182）まで、お問合せください。

市議会では意見箱を設置しています！

わかりやすく、開かれた議会を目指し、皆さまからのご意見を今後の議会運営に反映させるため「市議会意見箱」を設置しています。



防府市議会では、どなたでも 議会への意見箱
気軽に議会を傍聴することができます。市政運営のために、条例・予算等をどのように議論しているのか、ご覧いただき、ぜひ、議会運営に対しての気づきや疑問、改善すべきことなど、ご意見をお寄せください。

お寄せいただいたご意見は、個人情報配慮した上、議会ホームページや議会だよりで紹介させていただくことがございます。

意見箱は、議会棟1階と3階に設置しております。

政務活動費の収支報告書を閲覧ください。

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。政務活動費を充てることができる経費の範囲や使途基準等は、「市議会政務活動費の交付に関する条例」によって定められており、全議員が規定に従って適正に使用しています。

防府市議会では、議員1人あたり年間25万円を政務活動費として各会派に交付しており、毎年、年度末には、領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残余があれば返還します。

平成29年度以降の政務活動費収支報告書については、閲覧を行い、透明性の確保に努めています。

【閲覧方法】

日時：市役所開庁日の午前9時～正午、午後1時～午後5時

申請場所：市役所議会棟議会事務局

手続：収支報告書閲覧請求書に必要事項を記入

【閲覧にあたっての注意事項】

- ①カメラ、コピー機器、危険物等を閲覧場所に持ち込まないこと。
- ②指定された場所以外では閲覧は行わないこと。
- ③収支報告書は丁寧に取扱い、破損、き損又は加筆等の行為は行わないこと。
- ④音読、談話、飲食等、他の閲覧者の迷惑になる行為は行わないこと。
- ⑤書類の返却の際は、係員の確認を受けること。
- ⑥その他、係員の指示に従うこと。

「防府おどり」に2年連続の参加!!

今年も、防府市議会議員有志15名で「防府おどり」に参加しました。昨年に続いての参加となりましたが、今年も沿道から「頑張って！」など多くの温かい声援をいただき、市民の皆様と一体となって祭りを楽しむことができました。防府おどりは、地域の伝統と絆を感じられる大切な行事です。私たち議員にとっても、市民の皆様と直接ふれあい、笑顔を交わすことのできる貴重な機会となりました。

防府市は、市制施行90周年という節目の年を迎えています。今後もさまざまなイベントに積極的に参加し、市民の皆様とともに90周年を盛り上げ、活気と笑顔あふれるまちづくりにつなげてまいります。



議会日誌

5月

12日 会派代表者会議

6月

23日 勉強会・議会改革推進協議会
24日 議会運営委員会
29日 6月定例議会開会・全員協議会
議会広報編集委員会

7月

2日 本会議（一般質問）
3日 本会議（一般質問）
6日 本会議（一般質問）・議会運営委員会
8日 予算委員会（全体会）・議会改革推進協議会
9日 総務委員会
10日 教育民生委員会
13日 産業建設委員会
15日 6月定例議会閉会・議会広報編集委員会
27日 議会広報編集委員会
31日 議会広報編集委員会

8月

7日 山口県市議会議員研修会

9月定例議会の予定

9月15日（火） 本会議（開会）
18日（金） 上下水道事業決算特別委員会
24日（木） 本会議（一般質問）
25日（金） 本会議（一般質問）
28日（月） 本会議（一般質問）
29日（火） 予算委員会（全体会）
30日（水） 常任委員会（総務・教育民生・産業建設）
10月2日（金） 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
5日（月） 一般・特別会計決算特別委員会（教育民生）
7日（水） 一般・特別会計決算特別委員会（産業建設）
13日（火） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 0835-25-2182



9月定例議会の予定

「議会だより」は再生紙を使用しています。処分する際は、「雑がみ」として分別収集に出しましょう。

●市議会だよりお届け日の変更について

次回の市議会だよりNo.83は、市広報「かけはし12月号」と一緒にお届けします。

編集後記

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎藤村こずえ ○藤本真末 梅本洋平 生野美輪
田中健次 三原昭治

本市は今年、市制施行90周年を迎え、市内では記念イベントが続いています。7月18日には高橋尚子さんのトークショーが開かれ、約1300人の市民が聴講しました。心に残ったのは「努力とは続けること」という言葉。90年の歴史も、一つ一つの積み重ねの証です。防府市のさらなる発展に向け、私たちが歩みを重ねていきたいと思います。

